

第4回（平成24年9月期）番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成24年10月26日（水）17:00～18:00
2. 開催場所 会議室
3. 委員の出席状況
委員総数 8名
出席委員 8名 西修・正岡健二・萩尾利雄・木辻清子・山本幸男・為岡務・平川愛恵・宮川清
放送事業者側出席者 平野由美子

4. 議題

番組審議

第4回審議番組：「ももっちおばちゃんのラジオお昼便！」（15分）

10月10日（水）13:00～13:15 放送

パーソナリティ：溝江玲子さん（絵本・児童文学作家、遊絲社代表）

ゲスト：小林一平さん

（映画プロデューサー・映画監督、奇跡への情熱プロジェクト代表）

早田州子さん

（『黒潮物語』元気な子の会/

『奇跡への情熱』核廃絶プロジェクトチーム事務統括）

ディレクター・ミキサー・パーソナリティ：金千秋（FM わいわい）

提供：遊絲社

この番組は、毎週水曜日13:00～13:15放送のトーク番組。

（再放送は、同日21:00～21:15からと翌木曜日13:30～13:45。）

今回は、映画「ひろしま」（1953年、監督：関川秀雄）を日本各地で上映し、オリジナルプリントのデジタルリマスター化を目指す活動に取り組んでいる小林さんと早田さんをゲストにお招きし、今この映画を上映する意義などについてお伺いした4回シリーズの第1回目である。

5. 議事の概要

番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

【正岡健二委員】

- ・ 興味のあるテーマであった。映画は見てみたいと思った。
- ・ 全体の構成として、パーソナリティの立ち位置とゲストのトークの配分に違和感があった。「ももっちおばちゃんの…」という割には溝江さんがしゃべっていなかったし、もっと小林さん、早田さんを表に出さないと、ゲストを何のためによんでいるかがわからなくなる。
- ・ 溝江さんは自分の中に結論がありゲストを誘導してしまう心理が働いているように感じられた。その場で聞いたことをまとめていくという話し方をしなければ、リスナーにはどうしてゲストをよんだのかが理解できない。
- ・ 4回シリーズの1回目というのは理解したが、それぞれがストーリーのある内容にならないと4分の1にしかならず、15分で1回の番組の意味がない。消化不良のままだった。

【木辻清子委員】

- ・ 映画のことは全く知らなかったが一度見てみたいと思った。
- ・ ももっちおばちゃんは、以前審議をした時に比べると聴きやすかった。話し方が良くなった。

- ・ どういう意図で溝江さんが小林さんをゲストによんだのかがわからなかった。

【山本幸男委員】

- ・ 溝江さんと小林さんの対談、あるいは小林さんの話をずっと聞くという内容でもよかったのではないか。

【為岡務委員】

- ・ 自分が生まれた年に作られた映画ということに興味を持った。

【萩尾利雄委員】

- ・ 審議対象が4回シリーズの1回目ということで番組全体のほんの一部という感があり、あまり感想がない。
- ・ 昔、広島市の平和記念館で原爆についての別の映像を見た経験があり、もう残酷なものは見たくないという気持ちがある。

【平川愛恵委員】

- ・ 木辻委員と同じで、溝江さんのトークは以前より安心して聞けるようになったと思われる。
- ・ 監督はインタビュー慣れしているようで、ゆっくりしっかり話し聴きやすかった。
- ・ 今回は溝江さんがというよりも金さんが主導権を握っていたようで、ももっちおぼちゃんの番組としてはイレギュラーな感じがした。

【宮川清委員】

- ・ 小林さんの話はわかりやすく聴きやすかった。
- ・ 枝葉のところで気になった点がいくつかあった。いつ上映されたのか、どんな内容なのか等、映画についての基本的な情報がよく伝わってこなかった。

【西修委員長】

- ・ 初めて番組を聴いたので溝江さんの話し方は聴きづらく感じた。どういう風に聴きにくいかは言えないが…。
- ・ やはり溝江さんの立ち位置に違和感があった。「ももっちおぼちゃんの」という番組には聴こえなかった。
- ・ 早田さんがほとんどしゃべっていないなど、ゲストが置き去りになっていた気がした。
- ・ 現在の世相などから映画そのものへの興味はあるが、先に素材に添付されていた資料を見てしまったので、先入観を持って番組を聴いてしまった。

【放送事業者側出席者：平野由美子】

- ・ 溝江さんは2004年秋から番組を制作していてこのたび放送210回目を迎えた。
- ・ 奈良から通ってくださっており、1回の収録で複数回を収録する。
- ・ 以前審議していただいた時は一人喋りでの番組進行であり、ミキサー担当者との掛け合いにした方がよいのではという指摘を受け現在の形になった。
- ・ 今回は「ももっちおぼちゃん」というキャラクターではなく、溝江さんご本人としてのこだわりでゲストをお招きしたようだ。
- ・ 小林さんはわかりやすく質問を投げかけると詳しくお話してくださり、少し編集には手間がかかったそうである。また早田さんは4回分の収録を通してほとんど発言していなかったようだ。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月日

- ・ 次回の番組収録時に担当者に伝える予定（平成24年11月中）

8. 審議機関の答申または意見を公表した場合における公表内容、方法、年月日

- ・ 公表内容…議事の内容

- ・ 公表方法…自社放送（平成 24 年 11 月 10 日 12 : 00～13 : 55 の番組内で放送予定）
事務所に議事録の備置き（平成 24 年 11 月 10 日）
ホームページに掲載 <http://www.tcc117.org/fmyy/index.php?cl=13-98>

9. その他参考事項
特になし

以上